



議会だより

2006
第20号
2006.11.1



祝 敬老の日

Contents

平成18年第3回定例会	2～3
一般質問・お知らせ	4～6
研修報告	7
議会日誌・編集後記	8

うたづ議会だより

電子メール：gikai@town.utazu.kagawa.jp

発行：宇多津町議会

〒769-0292 香川県綾歌郡宇多津町1881

☎ (0877) 49-8014

編集：議会広報特別委員会

平成18年 第3回定例会



平成18年第3回 定例会（対面方式）

主な内容

- 平成十七年度一般会計決算認定は継続審査とした
- 平成十七年度（国民健康保険特別会計、老人保健特別会計、介護保険特別会計、下水道事業特別会計、水道事業会計）決算認定
- 平成十八年度一般会計補正予算を可決
- 平成十八年度介護保険特別会計補正予算を可決
- 「飲酒運転撲滅」を決議

平成18年第3回定例会は9月12日から9月21日まで開催され、認定六件、議案三件、決議一件、その他一件を審議した。一件は継続審議とし、その他はすべて可決した。一般質問には5人が登壇し「子育て支援」「防災」「土木行政」「学校教育」「地域包括支援センター」などについて活発な議論が交わされた。また第2回定例会に設置した「調査特別委員会」の報告がなされた。



熱心に聞き入る傍聴者

平成十八年度

一般会計補正予算について

四千九百五万四千円を追加し
歳入歳出それぞれ五十億五千
九百五十五万一千円とする。

北小ときめき広場外壁のガ
ラスブロックを全面交換

ガラスブロックを新しいも
のに交換する費用として四百
九万円



3号公園のテニスコート修
繕費に三百七万二千円

672㎡をカラー舗装に



観光ガイドマップ増刷に二
十八万四千円

日本語版20,000部、
英語版2,000部の印刷費

平山コミュニティ分館造成
費に四百万円

産業資料館北側護岸に防護
柵を30m設置へ

町が4割負担して、県工事
として設置



選挙管理委員（任期平成18年11月22日から4年間）

鶴野 晴美	宇多津町2260番地 2
香川 樹子	宇多津町浜八番丁127番地 6
豊嶋 寛	宇多津町浜八番丁122番地 3
木下 哲	宇多津町1646番地 1

同補充員

阿野トシ子	宇多津町1848番地
松岡 秀子	宇多津町3638番地 5
高橋 明	宇多津町2628番地 7 4 5
稲田 仁	宇多津町2068番地 2

Q&A

災害に強いまちづくりを 倒壊家屋減少への耐震対策は



荒井 善七議員

Q 南海・東南海地震を想定した緊急輸送道路の確保、学校の耐震化、民間住宅の耐震補助制度について伺います。

A 谷川町長

民間住宅の耐震補助制度については、耐震診断の支援、また、耐震診断で指摘のあった箇所の工事費についても支援をしていかなければならないと考えています。その中でも避難道路に面している家にまず優先的に実施していく必要があると考えられます。

北本建設課長

緊急輸送道路については、当町では瀬戸自動車道、さぬき浜街道、国道十一号線、県道高松善通寺線の四路線が、香川県地域防災計画の中で指定されています。

藤原学校教育課長

学校の耐震診断、改修の進捗状況は、平成十四年度に宇多津小学校（全十二棟）の一棟（三、〇八二㎡）について改修等を含め耐震補強等を行っており、現在、宇多津中学校の耐震診断を行っています。耐震診断の未実施の棟がある宇多津小学校、

幼稚園についても順次耐震診断を行う予定です。

Q AED（自動体外式除細動器）使用で、生存率が5倍に

心肺停止状態に使用するAEDの設置場所についてですが、学校や不特定多数の人が集まる公的施設への配置は検討しているのでしょうか。また、町内のスーパー、ホテル等民間施設への設置の呼びかけをしてはどうでしょうか。

A 亀井保健福祉課長

現在、保健センターに一台設置しています。このAEDについては、イベントやスポーツ大会など多数の人が集まる場所へ貸出しすることにしており、今後必要に応じて設置台数を増やしていきたいと考えています。町内の民間施設への設置の呼びかけについては、今後の予定として、AED普及促進協議会が発足するという計画があります。その協議会を通じて普及促進を図っていききたいと考えています。

町職員の飲酒による交通事故や不祥事等に対する処分の基準について



荒井 善七議員

Q 町職員が、飲酒による交通事故、またその他の不祥事を犯した場合の処分の基準について伺います。

A 中尾総務課長

町職員の不祥事に対する懲戒の処分対象者について、一点目は交通事故犯、すなわち交通事故を起こした職員、交通違反を起こした職員、運転免許の取り消しなどをされた職員、これらの職員を対象に原案作りに取組んでいます。二点目が一般服務関係で、例えば、虚偽の報告があった場合、機密の漏洩があった場合等です。三点目が公金、官物の取り扱いで、例えば、横領、窃盗等です。四点目が、公務執務外の関係で放火、傷害、恐喝等です。最後に、監督者責任関係で、指導監督の不適切、黙認等についても予定しています。現在、以上五点について、各々の概要に応じた処分の適用の素案作りに取組んでいます。

Q 当町が進めてきた臨海公園内への水族館誘致の現状について伺います。

A 谷川町長

水族館誘致の、基本構想並びに事業期間、事業費などの運営についてですが、民間事業者が主体となり事業を進めるにあたって、すでに協議会を開いて検討しており、今後

宮本助役

臨海公園は、地域における交流拠点としての役割を果たすため、「道の駅」として、また、この度「みなとオアシスウミホテル」として指定を受けました。水族館を誘致することにより、臨海公園の中核施設となるとともに、教育の充実、地域経済波及効果等、多方面での高揚を期待しています。進捗状況については、民間の事業として、現在、事業者が事業の立ち上げに向けて賛同企業を募るなど、準備や検討が進められています。

今後、進捗状況に合わせて、関係者が事業計画を検討する場が設けられるものと考えています。また、関係法令やアクセス問題等に関しても、関係機関との連絡調整に、当町としても協力していききたいと考えています。

町の土木行政改善策について



井原猛雄議員

Q 町の土木行政改善策、特に談合防止のための「手紙入札実施」について、提案も含めて質問します。岡山県津山市では、本年6月下水道入札を「手紙入札」に変えたことで、予定価格の73・93%で落札され、市の予算で約1億8,000万円節約できたことがわかりました。これは議員の提案を市が取り入れたものです。こうした談合のない公正な入札では市民の税金の無駄遣いが無くなった分です。「手紙入札」は指名業者が手紙で入札書を市の契約管理室に郵送するもので、指名業者を殖やし誰が指名されているかが分らず、談合を出来にくくしたものです。市はこの外にも「手紙入札」を下水道事業以外にも適用することや、電子入札の実施も検討しています。本町の場合も、私が指摘したように、津山市のような立派な制度を作って、言わば町の無駄遣いはなくなった筈です。因みに本町の場合、私が入手した町の資料によると、この3年間で落札の98%が90%の高落札率で私の試算によると、約3億円の町税の無駄遣いが想定されます。このような無駄遣いを止めれば、町の福祉の充実や教育の向上に使うことが出来る筈です。こうした問題について土木事業の改善策を含めて町長の明快な答弁を求めるものである。

A 谷川町長

土木行政につきましては、できるだけ入札方法も改善して、透明性の確保をなくてはならない。まずは、随意契約を原則的にやめようということとを提案し、実行いたしております。さらに競争性を高めるということから、指名競争入札のうえに一般競争入札の制度も導入しました。そのような

改革をしながら、できるだけ競争性を高め、透明性を確保しながら、住民からいささかの疑いも持たれないように、行政を進めていかななくてはならないと考えています。

宮本助役

手紙入札制度の実施についての御質問でありますが、これにつきましては導入経費や手続面等の課題もあります。こうした点も含めて、競争性や公平性の確保できる透明性の高い入札制度のシステムとして、当町の実態に照らしてどういったものが望ましいか、御提案の事例も含めまして今後研究してまいりたいと考えております。

Q 中学校体育館工事の談合等について

A 谷川町長

宇多津中学校体育館建設工事の談合疑惑等についてですが、色々な噂が飛び交ったり、複雑な利害関係が錯綜する社会において、それらに惑わされることなく、公務員として確固たる信念をもって公正な入札手続きを進めていくのが、我々の責務と考えています。町では談合や不正入札を防ぐため、一般競争入札を導入済みであり、宇多津中学校体育館工事についても、この定めに従って実施しています。また、指名競争入札における参加者の業者数については、宇多津町建設工事執行規則において、適当と認める業者を五人以上指名するものと定めており、競争性を確保することが望ましいと判断し、適正な運用を心掛けております。

5年間で学力・スポーツ日本一の学校を創るプログラムと日本一達成への第一歩は



谷川俊博議員

Q 谷川町長は、今年の1月に5年間で学力日本一、スポーツ日本一の学校を創ると公言されました。5か年で学力・スポーツ日本一の学校を創るとなると、どのようにして創って行くかというプログラムと年度目標なるものが必要だと思いますが、いかがでしょうか、また、スポーツにおいては、中学校の総合体育大会も終わり、スポーツ日本一達成への第一歩はどうだったのでしょうか、1年目の目標として、初期の目的は達成されたのでしょうか、お伺致します。

A 山分教育長

本年度の重点事項としては、基礎、基本の定着、スポーツ活動の推進としています。各々の取組み内容については、目標を設定し、年度末に目標について数値化をし、その結果を基に事業計画あるいは5か年計画を進めていきたいと思います。また、クラブ活動の戦績ですが、県の総体においては、幾多の種目に好成績を残し、特にバトミントンの部では県大会で優勝し、四国大会、全国大会へ出場いたしました。そのような中、日本一ひたむきに練習に取組んでおります。日本一ひたむきに取組むことについては、あくまでも子ども達の、取組みに対する姿勢であり、現実にはそれが日本一であるとか言うような評価基準もないのではないかと思うので、このような形で理解をしていただけたらと思います。

Q 防災対策について

香川県は、今年の7月に、平成16年に甚大な被害をもたらした、台風災害を受け、本県でも、防災対策が重要であると認識され、また、近い将来、発生すると予測されている、南海地震に備えるためにも、より一層の防災対策の充実が必要として、香川県防災対策基本条例が施行されました。市町の役割もいくつか挙げておりますが、これらについて、町は、どのように対応されるのか。また、平成17年の12月に宇多津町地域防災計画の見直しをされておりますが、全体的に、以前のものと比べて、どのようなところに配慮なされたのか、お伺い致します。

A 中尾総務課長

一昨年の台風の災害の教訓を踏まえ、防災意識の啓発、災害情報の提供、避難者のための備蓄、公共施設の耐震化、自主防災組織の支援など、防災対策の充実に取組んでいるところです。また、地域防災計画の見直しについてですが、これについては、以前のものと比べ、大きく四点、組織体制の見直し、大雨洪水や高潮時の避難勧告の発令基準、自主防災組織の育成と支援、災害ボランティアの受入れ体制等、新たに追加をさせていただきました。

Q&A

学校の安全確保を

Q 学校の安全対策は万全か。校内の建物、プールなど施設の安全は確かか。

登下校時の安全対策は十分か。

A 藤原学校教育課長答弁

学校では、命を大切する心を育てられるよう、講演等を行い安全対策に努めています。また、身体の安全については、危機管理マニュアルを作成し、交通安全教室、防犯訓練、火災訓練等を行っています。建物の安全については、学校が作成した点検項目に基づき、フェンス、門扉、遊具等の点検を定期的に行っています。次に、登下校の安全についてですが、現在行っているものについて継続していきたいと思っています。

Q 「地域包括支援センター」の現状と今後は

相談内容は高齢者や独居老人に役立っているか。

今後の役割や展望は。特に介護予防についてどのようにお考えか。

A 亀井保健福祉課長



香川虎生議員

事業の一つとして、包括支援事業があり、高齢者が安心して生活を続けられるよう、関係機関のネットワークを生かしながら総合相談支援に取り組んでいます。相談件数は、八月までの五か月間の集計として、五百十六件の相談があり、最も多いのが介護保険サービスの活用方法です。また、多岐にわたる内容の相談も増えており、高齢者の方には、役立っていると思います。また、介護予防については、一般高齢者を対象とした介護予防教室を実施していますが、本年度実施した基本健康審査時の基本チェックリストを基に虚弱高齢者を把握、介護予防事業に取り組み予定です。また、要支援1、2の方には本人の心身の状況や家庭環境等により、適切な予防プランを作成し、介護予防給付が行われるよう努めています。予防給付により、身体状況が改善されているか、効果が上がっているか、3か月毎に評価を行い、できるだけ、きめ細かな対応に努めており、将来的に介護費用の抑制につながればと考えています。

「宮本議員」「氏家議員」在職35年に総務大臣より感謝状

去る10月19日東京麹町会館において、総務大臣より感謝状が送られた。宮本一夫、氏家作衛両議員は地方議会議員として35年以上在職し、地方自治の発展に顕著な功労があったものである。今後も体につけて議員活動に邁進して下さい。



研 修 報 告

観光等 開発特別委員会

兵庫県篠山市

平成18年8月28日、観光等・開発特別委員会（青木義勝委員長）では、特産物振興と観光振興に力を入れる丹波篠山市に視察研修を行った。

400年前徳川家康が篠山城を築き、城下町として栄えてきた。

これといった観光の目玉はないが、年間300万人の日帰り観光客がある。

その内訳として、祭り63万人、温泉客50万人、ゴルフ49万人、その他の順になっているが、あの「でかんしょ節」は篠山の民謡で、商工会青年部が「でかんしょ祭り復活」を「使命」と捉え、長年かけ取り組んだ結果、この8月（15～16日）には17万人の人数が出た。

また、特産物には黒豆・栗・山の芋・松茸・猪肉など、特に「黒豆」は粘土質の土壌と昼夜の激しい気温差が好条件となって、粒の大きさと、艶は右に出るものはない。また、「丹波黒の枝豆」は1988年、関西で爆発的に売れた事を契機に全国的に有名となった。それ以来、毎年10月に行われている「枝豆とビール」のイベントには客が、高速のインター

から1時間以上も降りられないほどの大盛況となった。

篠山市では、文化・史跡よりも効果が早く出る「食べ物への転換」。観光への捉え方は「ハードは終わり、ソフトが中心」との方針で「特産物をより効果的に活かす」ことで「新たな観光」を生み出していた。



環境・交通特別委員会

兵庫県豊岡市

議会だよりでご案内のように、昨年はゴミの問題を取り上げ、今年の3月に委員会として、リサイクルショッ

プの設置、不法投棄対策及び不法投棄廃棄物回収助成金制度の制定等、循環型社会形成のためのゴミ問題について報告書を取りまとめ、町執行部に提言、要請を行なったところで

このような中、今年の4月からは新たに南海地震、東南海地震、一昨年の台風災害などの防災対策についてをテーマとして取り上げ、現在、調査・研究を行っています。

兵庫県豊岡市に行政視察

平成18年8月29日に環境・交通特別委員会（谷川俊博委員長）の委員をはじめ町長、議員など11名により兵庫県豊岡市に防災対策についての行政視察に参りました。豊岡市は一昨年の台風23号により市内の河川が決壊し、大変な被害を受けたところでもあります。豊岡市では、水害後にける防災、減災への取り組みの問題点（別記）をあげ、課題（別記）として、これらを強化してきました。特筆するところは、平成18年4月から全国の自治体でも珍しい防災課を設置し、防災体制の強化・充実を図っているところです。

問題点

- ・ 油断があったのではないかな。
- ・ 的確な防災対応ができなかったの



- ではないのか。
- ・ 各地区の自主防災組織が機能しなかったのではないのか。
- ・ 情報発信と情報が適切にできなかったのではないのか。
- ・ 避難所の体制に問題があったのではないのか。

課題

- ・ 危機管理の徹底と早い段階での対策を講じること。
- ・ 行政、防災機関にも限界がある。自主防災組織活動や個人による対応を啓蒙すること。
- ・ 具体的な情報発信と放送技術向上させること。
- ・ 備蓄品の分散配置を進めること。

議会日誌

8月

- 1日 議員総会
- 17日 調査特別委員会
- 18日 議会運営委員会
- 28・29日 環境・交通対策、宇多津観光
等開発特別委員会合同研修

9月

- 6日 議会運営委員会
- 7日 全員協議会
- 8日 調査特別委員会
- 11日 議会運営委員会
- 12日 第3回定例会本会議
- 14日 一般質問
- 15日 総務民生、建設教育合同委員会
- 19日 総務民生常任委員会
- 20日 建設教育常任委員会
- 21日 全員協議会・本会議

10月

- 3日 議員総会
- 10日 議員総会
- 23日 総務民生、建設教育合同委員会
- 26日 議員研修

表紙の言葉



敬老の日

今年も元気で「敬老の日」をお迎えになった皆様、誠におめでとうございます。05年のデータによると、65才以上は2,682万人、総人口割合21%で世界一。100歳以上の高齢者は10月末時点で過去最高の2万3,395人。10年前の約4倍。世界に例を見ないスピードで高齢化が進む。世代間の助け合いを前提にした社会保障制度を持続可能な制度に見直し。誰もが健康で長寿の人生を安心して送れるようにしていくことは、政治に関わる者に重大な責務がある。

また、「心して、その政治を監視せよ」と再び蘇る先人達の叱咤、激励。

開かれた議会を目指して

宇多津町議会では、議会活性化のために、様々な取り組みをしています。

- 定例議員総会（毎月第1火曜日）
- 『議会だより』の作成・発行（年4回）
- 日曜議会・夜間議会などの開催
- 各委員会による調査・研究など
- ご意見等は議会へ

編集後記

稲の刈り取りも終わり、豊作の秋を迎えることができた。そして秋祭りも無事盛大に終わった。秋祭りは本来、五穀豊穡を願ってお祝いたのが始まりである。しかし近年その本来の意味を取り違え、自由奔放に行われているように思われる。豊作に感謝し、平和で生活できることへの慶びを忘れてはいけない。大切な伝統を引き継ぐと同時にその本来の意味を、お祭りとはどういうものなのか、今一度考え直してみたい。秋祭りを終えてそう思うのである。

（T・K）

議会広報特別委員会
議長 藍川佳津樹
委員長 香川 虎生
副委員長 西本 弘子
委員 青木 義勝
池田 弘昌
谷川 俊博